

編輯室より

◇……過般の中央協力會議に於て決戦生活の徹底が論ぜられた際、藝能のもつ重要性が指摘され、東條首相自ら藝能文藝の大切なこと、國民士氣の昂揚に與つて力あることを確認されたことは注目し價する問題である。

◇……同人山本修二先生は最近某誌に演劇の娛樂性と指導性について再検討の機會を與へられ、何よりも先づ演劇を愛するものは、國家を愛しなければならぬ、そしてその愛國心を新しき形象に迄盛り上げる藝術精神を持たねばならぬことを指摘し、空爆にも堪え得る演劇の内容と形式とを今こそ検討する必要があることを論ぜられてゐるのは洵に肯啓に値する卓見である。

◇……本誌の巻頭を飾る細川景正氏の「新版歌祭文命名考」は同氏獨特の研究になるもので大方の御熟讀をお願ひする次第であるが、紙面の都合上、大部の草稿を短縮して頂いたことを筆者並に讀者に對して御諒承願つておき度い。

◇……同人太宰施門先生の「文藝研究」が千歲書房「バルザック以後」が山口書店、同じく齋藤清二郎先生の「文樂首の研究」がアトリエ社から刊行された。尙上梓計畫中のものに鴻池幸武氏の「鶴澤道八藝談」がある

淨瑠璃雜誌 第四百廿一號

(昭和十八年 七月號)
(毎月一回二十日發行)

●本誌 一部 金五十五錢(送料四錢)
特別行爲稅相當額五錢ヲ含ム
●六部 金三圓三十錢(稅共)
●十二部 金六圓六十錢(稅共)

○御注文は一切前金の事
○雜誌發送を以て領收證に代ゆ
○外國送りは一冊に付郵稅十錢を要す
○座穴版三三九二八番

廣 告 料

普通 一行 金三十錢
二等 一行 金二十圓
一等 一行 金二十圓
特等 一行 金三十圓
○特等は二頁以下の需に應ぜず六回以上の特約には割引す
○製版を要する時は其實費を申受く
○廣告料は總て前金の事
○一行九ポイント活字

發行所 淨瑠璃雜誌社

編輯人 樋口虎之助

印刷人 坂口秀吉

印刷所 高尾印刷所

發行所 淨瑠璃雜誌社

大阪府西區千本通二ノ三二
大阪府西區江戶橋下通四ノ三〇
大阪府西區江戶橋下通四ノ三〇
大阪府西區千本通二ノ三二

森祐齋香鴻山野梅成中中辻武高太吉大林

藤 池 本 間 本 瀬 野 西 部 智 安 幸 永 西
田 西 幸 修 光 重 無 孝 鐵 吸 施 孝 重
は 清 信 政 秀
の 善 二 太 太

旺雄郎精武二辰信極一郎郎二江門雄孝雄